



# 広島南支部会報

Hiroshima Nursing Association Hiroshima Minami bulletin magazine

### 広島県看護協会広島南支部会員数

保健師	25人(入会率31%)
助産師	75人(入会率117%)
看護師	1,980人(入会率75%)
准看護師	69人(入会率14%)
合計	2,149人(入会率66%)

## ごあいさつ

GREETING



支部長  
木坂 直子

広島県看護協会南支部会員の皆様におかれましては、平素より支部事業の運営にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

医療現場は、新型コロナウイルス感染症により、緊迫した状況の中で対応を迫られ変化を余儀なくされました。広島南支部においても、感染対策に努めながら事業を進めましたが、一部事業は感染拡大状況を鑑み、やむを得ず中止とさせていただきます。特に広島南支部看護研究発表会の中止については、研究者をはじめ会員の皆様に心からお詫びいたします。

しかし、新型コロナウイルス感染症から、学んだこと、得たことも多かったと考えています。苦難の連続の中での取り組みは、まさに「Nursing now: 看護の力で未来を創る」であると感じています。

今後も、未来に向かって、あらゆる場で働く看護職が連携を図り、看護を創造しながら、地域で生活している対象者の暮らしと医療を支えていけるよう、支部活動を行ってまいります。引き続きご支援とご協力をお願いいたします。

## 事務職員の紹介

今年7月より前任の岡田さんの後任として務めさせていただきます。

コロナ禍で行事がいつも通りにならない中、慣れないながらも精いっぱい頑張っております。これからも会員の皆様のために広島南支部の活動が円滑に進められますよう、役員の方々と一緒に精進してまいります。どうぞよろしくお願い致します。

広島南支部事務所 事務員 平田 ちなみ



南支部総会

## 令和2年度看護協会 広島南支部総会

開催日: 令和2年4月  
(新型コロナウイルス感染拡大を考慮し総会は中止書面審議となりました。)  
協議事項承認: 1,867名  
委任数: 96名

南支部施設紹介

▶ ツクイ広島訪問看護ステーション ..... 事業管理者 小山 綾香



株式会社ツクイは、全国47都道府県・690か所以上で介護・医療サービスを展開しております。私たち、ツクイ広島訪問看護ステーションは平成26年に「いのちの尊厳を重んじ専門職としての自律的な関わりと信頼される質の高い看護を提供できる」を理念にかけ開所いたしました。お客様の幸せの実現のため、従業員の幸せの実現のため、それぞれの思いを大事にしながら、皆様に寄り添えるステーションであり続ける様に、精励格闘いたします。

会員  
交流事業

文字で変えよう自分と未来

講師 筆跡診断士 ファイナンシャルプランナー 広田 美穂先生

開催日：令和2年9月5日(土) 10:00~12:00  
場 所：広島市南区役所別館4階 大会議室

参加者：23名

研修を終えて .....

筆跡診断について知らなかったことが多かったのですが、今回の研修会に参加できて筆跡診断について興味をもつことができました。

福を呼ぶ「福相の筆跡」という字があり、その筆跡を意識して書くことで幸運が訪れるなど実際に、試したくなるようなお話でした。前に出て1人ずつホワイトボードに字を書くのは少し緊張しましたが、広田さんに見ていただくことで新たな自分を発見する機会になりました。一番印象に残っていることは、数字の書き方で体調の悪さがわかるということです。患者さんに問診票を書いて貰った際には、1つの情報として筆跡診断してみたいと思います。ありがとうございました。

ヒロシマ平松病院 河野 友里



関連職種  
地域  
連携事業

## コロナ禍の新しい日常のなかで行う 医療、介護の連携 ～現状の中でできる工夫～

講師 県立広島病院  
あいわ在宅療養支援ステーション  
南まごころネット在宅介護支援事業所

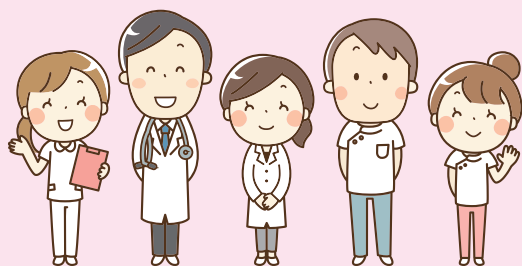
石橋 里美 (患者総合支援センター副センター長)  
橋本 美保 (所長)  
三上 淳一 (管理者)

開催日：令和2年10月10日(土) 10:00～11:30  
場 所：広島市南区役所別館4階 大会議室  
参加者：49名

### 研修を終えて

今回の研修は、コロナウイルス感染予防の様々な取り組みが成される中、介護支援専門員という立場で「何を考え、どう行動すべきか」の糸口が見つければとの思いで参加しました。受講し、コロナ禍であっても、私たちの支援対象である高齢者の日常は変わらず流れていると言う事を当然の事ながら改めて感じました。私たちの日常や業務も様々な制約が起こっています。その中で一定の質を維持し支援して行くため、インターネットの活用等、新たな連携体制の構築を医療、介護従事者の私たちが一体となって、考えていかなければならないと感じました。今回、このような研修の場を与えて頂きありがとうございました。

広島市段原地域包括支援センター 玉田 亮輔



組織強化  
研修会

## 医療・介護現場で看護職が巻き込まれやすいトラブル

講師 前川・小川法律事務所 弁護士 前川 秀雄 先生

開催日：令和2年11月28日(土) 10:00～12:00  
場 所：広島市南区役所別館4階 大会議場  
参加者：30名

### 研修を終えて

今回、医療・介護現場で看護職が巻き込まれやすいトラブルについて、このような場合にはどう対応したらよいかと、具体的な事例を挙げながらだったため、とても分かりやすかったです。事例の中には、「同じような場面があった」や「こういう時の対応に困った」というような共感をもてる内容もあり、対応方法についても話を聞くことができ、とても学びの多い研修内容でした。トラブル



回避や自分の身を守るためにも、事実のみをしっかりと記録に残すこと、自分1人で抱え込まず、同僚や上司に相談することを改めて再確認することが出来た研修となりました。

広島シーサイド病院 赤石 美佑





看護  
研究事業

講師 広島大学大学院医系科学研究所  
地域・在宅看護開発学 准教授 菅井 敏行先生

開催日：令和3年2月13日(土)  
(新型コロナウイルス感染拡大を考慮し中止となりました)

演  
題

1. 病棟看護師の倫理的感受性が向上する倫理カンファレンスの検討 広島大学病院 中山 昌子

---

2. センサー機器選択フローチャート作成後のA病棟における脳神経内科・  
外科疾患患者の転倒・転落の実態と看護師の認識調査 広島大学病院 野崎 賢

---

3. 当科における前思春期摂食障害患者の発症にかかわる因子 県立広島病院 築地 健太

---

4. 口腔内環境改善に向けた取り組み  
～重曹水・はちみつジェルを使用した口腔ケアの効果～ 広島シーサイド病院 栗栖 真喜

---

5. リンパ浮腫指導構築へ向けた取り組みと課題 広島大学病院 角野 めぐみ

---

6. せん妄患者の対応時に看護師が感じるストレス軽減に対する取り組み  
～せん妄の理解を深める学習会を通して～ 県立広島病院 石黒 孔久

---

7. パートナーシップ・ナーシング・システム(PNS)マインド向上への取り組みの成果  
～KYTを活用した勉強会を通して～ 広島大学病院 田中 理沙

令和2年度広島県看護協会広島南支部 研究サポート事業  
サポート教員として関わらせて頂いた感想 ……………

この度、広島県看護協会広島南支部の研究サポート事業にて4つの研究テーマについて、その研究のサポートをさせて頂きました広島大学大学院 地域・在宅看護開発学の菅井敏行です。

本来ならば発表会の場にてご挨拶とお礼を申し上げる予定でございましたが、新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から発表会は中止となったため、このように紙面にてご挨拶を差し上げます。

研究サポートでは、キックオフとなる看護研究の基礎については対面で講義が可能であったものの、その後の個別研究サポートでは本来面接形式で行われる対面での支援は叶わず、研究グループの皆様にも協力を得てビデオ会議システムによる研究サポートを行わせていただきました。当初、このような研究サポートの方式には限界もあり、各グループができる研究に制限がかかってしまうかと思っておりましたが、各研究グループともにビデオ会議システムにすぐ慣れて頂きました。研究グループの皆様は、このような逆境においても常に

研究に前向きで、貪欲でした。ディスカッションの中で研究のテーマの方向性に変化があったグループもありましたが、いずれのグループもゴールの位置を近い位置に置くことなく、むしろ、研究課題を掘り下げ、研究のゴールをより深く再設定され、知の探求である研究の楽しさを感じていらっしゃるようでした。このような宝物のような研究成果ですので、研究グループのみなさまにおかれましては今回の研究を、今後どこかで是非発表頂いて、臨床の場に還元していただき、今後の研究にもつなげていただきたいと思います。

この度は、このような状況の中で研究支援事業を担当させて頂いていただくこととなりましたが、研究グループの皆様、また、運営に携わって頂いた皆様広島県看護協会広島南支部の皆様より多大なご協力とご支援を頂戴し、一緒にやり遂げることができたことを大変うれしく思っております。ありがとうございました。

末筆ではございますが、皆様の今後のご発展をお祈り申し上げます。

広島大学大学院 地域・在宅看護開発学 菅井 敏行

編集後記

今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、支部活動も通常とは違う状況の中での活動となりました。各研修会は感染対策をとりながら少人数での参加とし、看護研究発表会につきましては、講演を中止し抄録集の発行のみへ変更となりました。今回支部会員の方々のご支援により、無事に広報誌を発行することが出来ましたことに感謝いたします。次年度も支部活動へのご参加及び、ご協力を宜しくお願い致します。

**南支部事務員在室日**

月・火・木

**9:00~12:30**

(但し、都合により変更となる場合があります)



[発行日] 令和3年3月発行  
 [発行所] 公益社団法人広島県看護協会 広島南支部事務所  
 〒734-0001 広島市南区出汐1丁目11-4 シェンワ出汐107号室  
 TEL/FAX:082-254-4794 E-mail: s-minami@nurse-hiroshima.or.jp  
 [発行責任者] 木坂 直子